

2021年度第1四半期 決算説明会

2021年7月29日
株式会社村田製作所



当第1四半期決算のトピックス



- 売上高は、自動車の生産台数回復や今後の生産増加に備えた顧客の部品の取り込みによりカーエレクトロニクス向けが増加したほか、PC関連向けやスマートフォン向けも増加したことで、前年同期比+34.5%の増収。計画比で上振れ。
- 営業利益は、生産高増加に伴う操業度益やコストダウンの推進、円安効果により前年同期比倍増。営業利益率は同比8.2ポイント上昇の23.9%。

当第1四半期の実績に関しましては、売上高は、前年同期比34.5%の増収となりました。計画比に対しては、376億円の増加で上振れしております。
営業利益は、前年同期比倍増。営業利益率は、前年同期比8.2ポイント上昇の23.9%となりました。

当第1四半期決算のトピックス



- 第1四半期の実績と旺盛な部品需要の見通しを踏まえ、通期業績予想を上方修正。生産能力の増強を目的に設備投資計画も見直し。
- 通期業績は、売上高1兆7,300億円（前期比+6.1%）、営業利益3,650億円（前期比+16.5%）を予想。
- 旺盛な部品需要に対して、ムラタの強みである「供給力」を活かし、売上・利益ともに過去最高値を予想。営業利益率は20%以上を予想し、ROICも「中期構想2021」で目標として掲げた20%の実現を目指す。

第1四半期の実績と、現在の部品需要の見通しを踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたしました。設備投資に関しても、若干上方修正で見直しております。
通期業績は、売上高1兆7,300億円。営業利益3,650億円を最新の予想としております。
この結果、売上・利益ともに過去最高を更新するという予想でございます。
中期構想2021で掲げておりましたROICの目標値20%につきましても、このままこの調子でいきますと実現できるという方向になっております。

2021年度第1四半期 業績概要

2021年4月～2021年6月
第1四半期連結会計期間

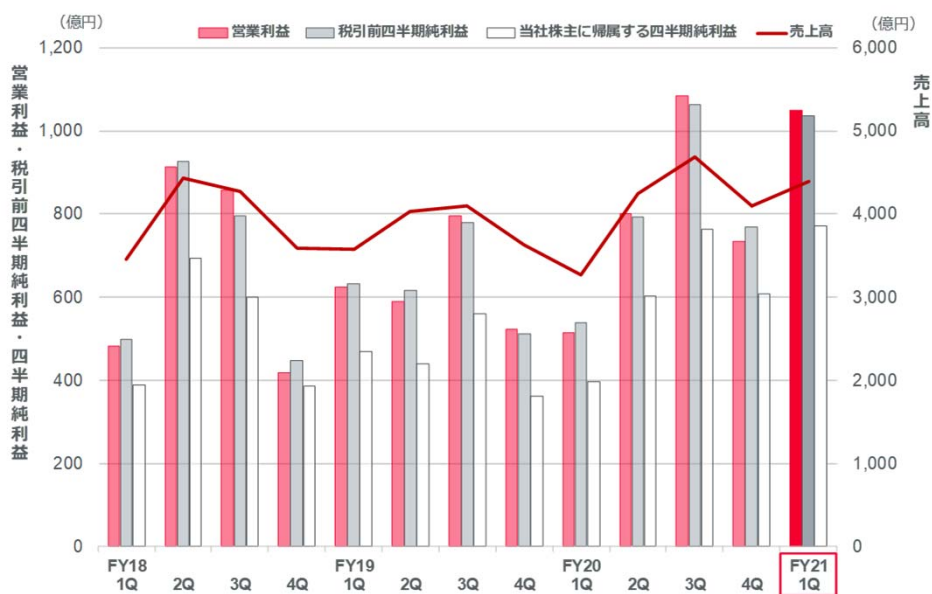


muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

業績概要

業績推移（四半期）

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

5

業績の四半期別の推移でございます。

直近の売上高は、品種では主にコンデンサ、用途ではコンピュータ関連機器向けで増加しております。利益は、直前の四半期に対して増益となっております。

	2020年度 第1四半期 (億円) (%)		2020年度 第4四半期 (億円) (%)		2021年度 第1四半期 (億円) (%)		前年同期比 21Q1/20Q1 (億円) (%)		直前四半期比 21Q1/20Q4 (億円) (%)	
売上高	3,268	100.0	4,095	100.0	4,396	100.0	+1,128	+34.5	+300	+7.3
営業利益	513	15.7	733	17.9	1,051	23.9	+537	+104.7	+317	+43.3
税引前当期純利益	539	16.5	769	18.8	1,037	23.6	+498	+92.3	+268	+34.8
当社株主に帰属する 当期純利益	396	12.1	607	14.8	772	17.6	+376	+95.1	+165	+27.1
為替 (円/USD)	107.62		105.90		109.49					

- ・ 売上高は、コンデンサがカーエレクトロニクス向けやスマートフォン向けで大きく増加したことに加え、表面波フィルタやインダクタ、高周波モジュールがスマートフォン向けで増加したことにより、前年同期比で大幅な増収。
- ・ 営業利益は、生産高増加に伴う操業度益やコストダウン、円安効果などにより、前年同期比で倍増。
- ・ 当社株主に帰属する当期純利益は、四半期業績としては過去最高を更新。

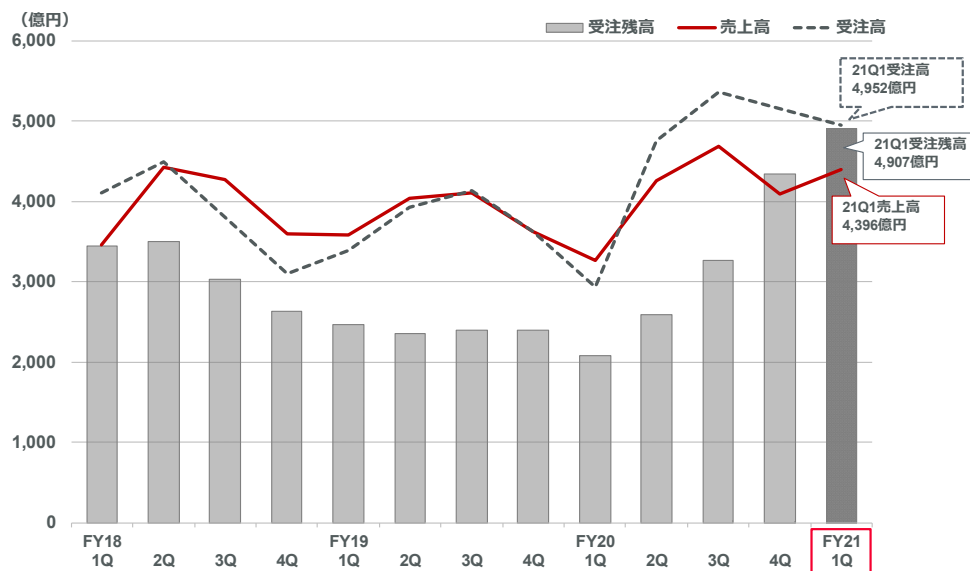
第1四半期の業績の概況でございます。

売上高4,396億円で、前年同期比34.5%増。直前四半期比7.3%の増加でございます。
営業利益は1,051億円。前年同期比プラス104.7%。直前四半期比43.3%という結果でございます。

その結果、当社株主に帰属する当期純利益は、四半期業績として過去最高を更新しました。

売上・受注・注残推移（四半期）

前四半期比で受注高は減少したものの、依然として高水準の受注が継続し、注残は過去最高。



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

7

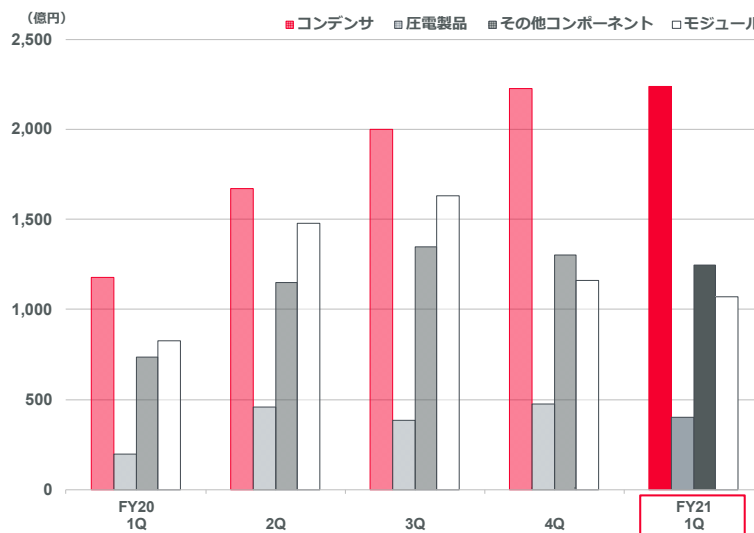
売上・受注・注残の推移でございます。

当第1四半期では、受注残高がさらに積み上がり、4,907億円の受注残高となっております。

受注は、直前の四半期に対して若干の減少となっております。

製品別受注高推移

- ・ 前年同期比では、COVID-19による経済活動の制限からの回復により全ての製品で増加。
- ・ 前四半期比では、コンデンサがPC関連向けや基地局向けで増加したものの、高周波モジュールや表面波フィルタがスマートフォン向けで減少。
- ・ 高水準な受注が継続しているが、中華圏スマートフォン向けなど一部の用途で受注が減少傾向。



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

8

受注高の内訳です。直前の四半期に対して、コンデンサは、ほぼ横ばいですが微増。圧電製品、モジュール等で若干減少をしております。トピックスとしては、中華圏のスマホメーカーからの受注が、この第1四半期でやや下降傾向が出てきたということがございます。

	2020年度 第1四半期		2020年度 第4四半期		2021年度 第1四半期		前年同期比 21Q1/20Q1		直前四半期比 21Q1/20Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	1,345	41.2	1,687	41.3	1,893	43.1	+548	+40.7	+206	+12.2
圧電製品	264	8.1	366	8.9	388	8.8	+124	+46.9	+22	+6.1
その他コンポーネント	774	23.7	1,020	24.9	1,109	25.3	+336	+43.4	+89	+8.8
モジュール	879	27.0	1,016	24.9	999	22.8	+119	+13.5	▲18	▲1.7
製品売上高計	3,262	100.0	4,089	100.0	4,388	100.0	+1,126	+34.5	+300	+7.3

製品別の売上高でございます。
 前年同期比で見ますと、ほぼ全ての製品分類で増加しております。
 直前四半期に対して、次のページで説明させていただきます。

コンデンサ (直前四半期比+12.2%)	○チップ積層セラミックコンデンサ(MLC) PC関連向けやスマートフォン向けを中心に増加 顧客による今後の増産を目的とした部品在庫の積み増しにより、カーエレクトロニクス向けの売上も高水準を維持
圧電製品 (直前四半期比+6.1%)	○表面波フィルタ IoT機器向けやスマートフォン向けで増加
その他コンポーネント (直前四半期比+8.8%)	○リチウムイオン二次電池 パワーツール向けやゲーム機向けで増加 ○インダクタ(コイル) / コネクタ スマートフォン向けで増加
モジュール (直前四半期比▲1.7%)	▲コネクティビティモジュール PC向けで減少 ○樹脂多層基板(メトロサーク) ハイエンドスマートフォン向けで増加

コンデンサは、PC関連向けや、スマートフォン向けを中心に増加しております。顧客による今後増産を目的とした部品在庫の積み増しによって、カーエレクトロニクス向けの売上も高水準を維持しております。その結果、直前四半期比12.2%の増加となりました。圧電製品は、表面波フィルタが増加したことによって、同6.1%の増加となりました。その他コンポーネントは、主な商品ではリチウムイオン二次電池、インダクタ(コイル)、コネクタといった製品で増加しておりまして、同8.8%の増加となりました。モジュールは、コネクティビティモジュールがPC向けで減少しました。その結果、直前四半期比1.7%の減少となりました。

	2020年度 第1四半期 (億円) (%)		2020年度 第4四半期 (億円) (%)		2021年度 第1四半期 (億円) (%)		前年同期比 21Q1/20Q1 (億円) (%)		直前四半期比 21Q1/20Q4 (億円) (%)	
A V	154	4.7	173	4.2	190	4.3	+36	+23.2	+17	+9.6
通信	1,592	48.8	1,759	43.0	1,857	42.3	+264	+16.6	+98	+5.5
コンピュータ及び関連機器	680	20.9	777	19.0	897	20.4	+217	+31.9	+120	+15.4
カーエレクトロニクス	428	13.1	839	20.6	827	18.9	+399	+93.2	▲12	▲1.4
家電・その他	407	12.5	540	13.2	618	14.1	+211	+51.7	+78	+14.4
製品売上高計	3,262	100.0	4,089	100.0	4,388	100.0	+1,126	+34.5	+300	+7.3

(注) 当社推計値に基づいております

用途別の売上高でございます。

前年同期比で申しますと、全用途で増加しております。特に増加の幅が大きいのは、前年同期で非常に低水準な受注で始まりました、カーエレクトロニクス向けで、今期プラス93.2%の増加となっております。

直前四半期比は次のページで説明させていただきます。

AV (直前四半期比+9.6%)	○ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが増加
通信 (直前四半期比+5.5%)	○スマートフォン向けでコンデンサ、樹脂多層基板(メトロサーク)、コネクタ、インダクタが増加 ○基地局向けでコンデンサが増加
コンピュータ及び関連機器 (直前四半期比+15.4%)	○コンデンサがPCやサーバー向けで増加
カーエレクトロニクス (直前四半期比▲1.4%)	○顧客の在庫積み上げの動きを背景にコンデンサの売上は高水準を維持 ▲コネクティビティモジュールが減少

(注) 当社推計値に基づいております

AV向けは、ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池、コンデンサが増加したことで、直前四半期比9.6%の増加となりました。

通信向けは、スマートフォン向けが主で、プラスの5.5%となりました。

コンピュータ及び関連機器向けは、プラスの15.4%と非常に高い水準の増加となりました。

カーエレクトロニクス向けは、コンデンサの売上が高水準を維持しておりますが、自動車向けのコネクティビティモジュールが減少したことで微減の1.4%の減少となりました。

セグメント情報

		2020年度 第1四半期		2021年度 第1四半期		増減	
		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	2,456	100.0	3,461	100.0	+1,005	+40.9
	事業利益	589	24.0	1,120	32.4	+531	+90.2
モジュール	売上高	879	100.0	999	100.0	+119	+13.5
	事業利益	69	7.9	85	8.5	+16	+22.9
その他	売上高	144	100.0	156	100.0	+12	+8.1
	事業利益	19	13.4	20	12.8	+1	+3.7
消去又は本社部門	売上高	▲ 211	-	▲ 220	-	▲ 8	-
	本社部門費	▲ 164	-	▲ 175	-	▲ 11	-
連結	売上高	3,268	100.0	4,396	100.0	+1,128	+34.5
	営業利益	513	15.7	1,051	23.9	+537	+104.7

- ・ コンポーネント コンデンサ・インダクタ・リチウムイオン二次電池・表面波フィルタなどの売上が大きく増加したことにより、全体として大幅な増収増益。
- ・ モジュール コネクティビティモジュールや高周波モジュールなどの売上が増加したことにより、全体として増収増益。

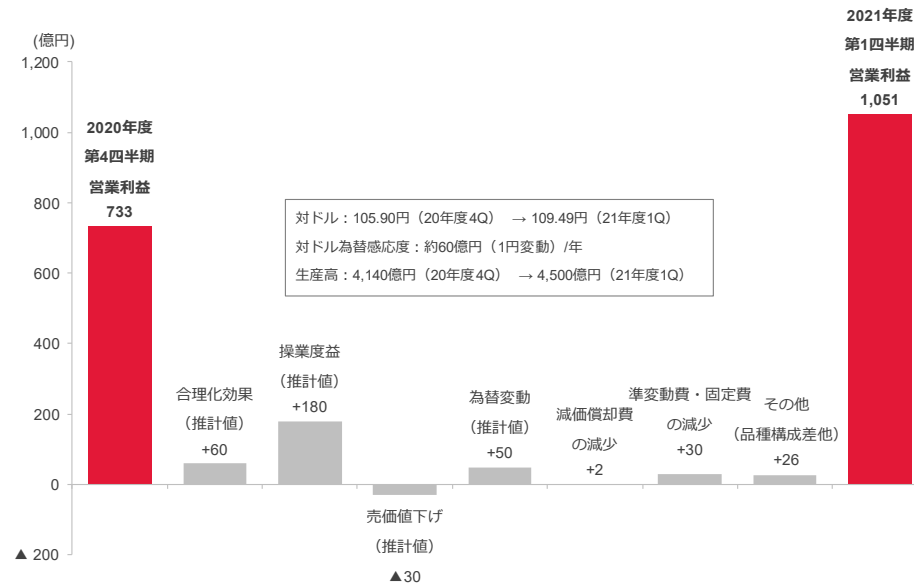
セグメント情報について説明させていただきます。

コンポーネントとモジュールのセグメント情報で開示しております。コンポーネント、モジュールともに前年同期比で増収増益となっております。

要因としては、コンポーネントは幅広い品種、コンデンサ・インダクタ・リチウムイオン二次電池・表面波フィルタなどの増加が貢献しております。

モジュールは、前年同期比でコネクティビティモジュールや、高周波モジュールなどの売上の増加が貢献しております。

利益変動要因 [2020年度第4四半期→2021年度第1四半期]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

14

利益変動要因の説明をさせていただきます。

2020年度第4四半期から2021年の第1四半期への変化でございます。

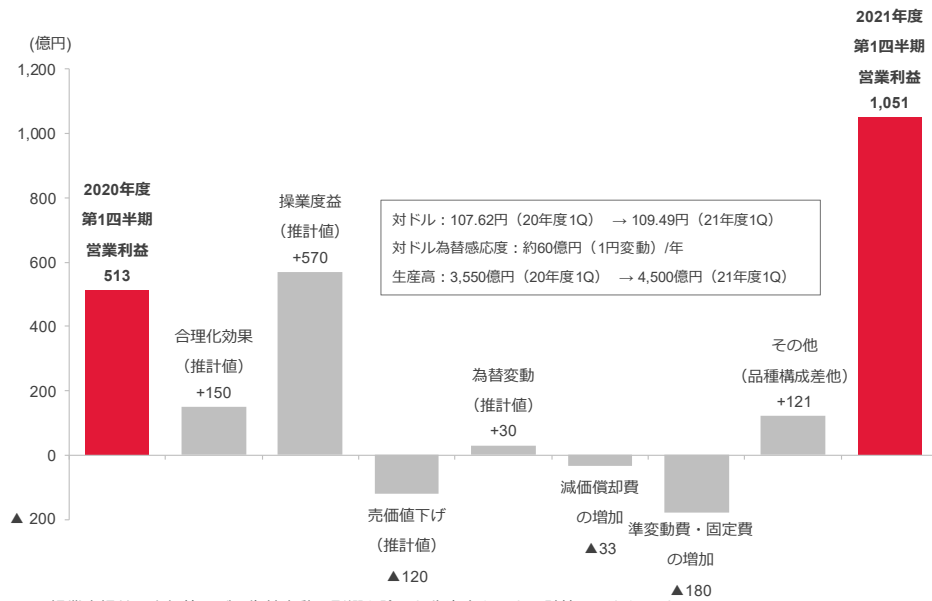
トピックスとしては、為替につきまして、前年同期では為替レートが105.90円ございました。これに対しまして、今第1四半期は109.49円ということで、その影響でプラス50億円ぐらいが出ております。

準変動費・固定費については、あまり影響はないですが、実態として生産関連の費用が増産によって増加しております。一方で、昨年度第4四半期に一部、Viosののれん減損や東北の地震の復旧コスト等が入りましたので、結果として増益要因となっております。

業績概要

利益変動要因 [2020年度第1四半期→2021年度第1四半期]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

15

前年同期での利益変動要因でございます。
 顕著な部分としては、操業度益が570億円のプラスで出ております。
 標準変動費・固定費が180億円のマイナスの要因となっております。昨年度コロナの危機が始まったばかりということで、様々な活動を停止させておりました。その分生産関連費用を含めて非常に固定費が低水準であった反動でございます。
 品種構成その他がプラスになっております。コンデンサや圧電製品といった、比較的利益率の高い商品の割合が増加したことによります。

キャッシュフロー

	2020年度 第1四半期 (億円)	2021年度 第1四半期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	456	581	+125
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 468	▲ 534	▲ 66
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 122	▲ 386	▲ 265
為替変動による影響	▲ 7	▲ 1	+6
現金及び同等物残高	2,882	3,737	+855
フリーキャッシュフロー	▲ 12	47	+59
固定資産の取得	▲ 477	▲ 467	+10
減価償却費	340	373	+33

前年同期比では増益。一方で、未収金の増加や税金の支払いの増加により、フリーキャッシュフローは微増。

キャッシュフローについてでございます。

営業活動によるキャッシュフローにつきましては、前年同期比でプラス125億円、投資活動によるキャッシュフローにつきましては、同マイナス66億円、財務活動によるキャッシュフローにつきましては、同マイナス265億円ということで、現金及び同等物残高は、今期末で3,737億円となっております。結果として、フリーキャッシュフローにつきましては、微増でございます。

2021年度 業績予想
(2021年4月～2022年3月)



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

部品需要予測

(部品取り込みベース)

	2020年度 実績	2021年度 前回予想(4月)	2021年度 今回予想(7月)	増減	
				前年度比	前回予想比
スマートフォン	14.5 億台	15.2 億台	14.8 億台	+3%	▲2%
PC	4.7 億台	4.6 億台	4.7 億台	+1%	+2%
デスクトップ	0.7 億台	0.7 億台	0.7 億台	▲3%	▲1%
ノートブック	2.1 億台	2.1 億台	2.1 億台	横這い	横這い
タブレット	1.8 億台	1.8 億台	1.9 億台	+4%	+6%
自動車	7,600 万台	8,500 万台	8,400 万台	+10%	▲1%

(注) 自動車は生産台数ベース

- ・ スマートフォン 一部地域での部品取り込みの減少や半導体不足による、セット台数減少を見込み、前回予想から下方修正。
- ・ PC リモートワークやオンライン教育向けの需要の継続を見込み、前回予想から上方修正。
- ・ 自動車 生産台数は引き続き前年度比で回復基調を見込むが、半導体不足による減産の影響を加味し、前回予想から若干の下方修正。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

18

2021年度、通期の業績予想を変更しておりますので、説明させていただきます。

まず前提とした部品需要の予測について、説明させていただきます。

スマートフォンにつきましては、若干ですが半導体の不足や一部地域での部品取り込みの減少の影響が出るということも鑑みまして、今回の修正予想では14.8億台とし、前回予想比マイナス2%前提を下げしております。

PCにつきましては、主にタブレットのほうで若干ですが増加させ、4.7億台という前提です。

自動車につきましては、半導体不足による減産の影響をやや加味しまして、100万台ですが、8,400万台と前提の生産台数を変えております。

製品別売上予想

	前回予想(4月)	今回予想(7月)	
	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 下期予想 (上期比)
コンデンサ	+11%程度	+20%程度	▲4%程度
圧電製品	▲2%程度	+2%程度	▲16%程度
その他コンポーネント	+11%程度	+16%程度	▲4%程度
モジュール	▲15%程度	▲19%程度	▲17%程度
製品売上高計	+2%	+6%	▲8%

製品別の売上予想でございます。

上方修正ということで、コンデンサは前年度比プラスの20%程度、圧電はプラスの2%程度、その他コンポーネントもプラスの16%程度という見通しにしております。

モジュールだけ前回の予想から下げており、マイナスの19%程度を見通しております。

モジュールにつきましては、当社も半導体の供給不足の影響を若干受けていることに加えて、スマートフォンの製品ミックスの想定を変更した影響で、4月予想比で下げております。

上期、下期の比較に関しましては、製品合計でマイナス8%になっておりますが、コンデンサはマイナスの4%程度で、主に大きく下げているのは、SAWフィルタが大きな影響をしております、圧電製品でございます。また、モジュールも上期比大きく減少という見通しを立てております。

用途別売上予想

	前回予想(4月)	今回予想(7月)	
	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 通期予想 (前年度比)	2021年度 下期予想 (上期比)
A V	▲5%程度	+4%程度	▲8%程度
通信	▲3%程度	▲4%程度	▲7%程度
コンピュータ及び関連機器	▲1%程度	+9%程度	▲14%程度
カーエレクトロニクス	+14%程度	+21%程度	▲1%程度
家電・その他	+10%程度	+23%程度	▲13%程度
製品売上高計	+2%	+6%	▲8%

(注) 当社推計値に基づいております

用途別の売上予想でございます。

通期の予想で、AVは上方修正でプラス4%程度、通信は微減ですけれどマイナス4%程度、コンピュータ関連機器はプラス9%程度、カーエレクトロニクスはプラス21%程度、家電・その他はプラス23%程度と想定しております。

業績予想

2021年度 業績予想



	2020年度実績		前回予想(4月)		2021年度 通期予想	今回予想(7月)				2021年度 通期予想	
	(億円)	(%)	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)		上期予想 (億円)	(%)	下期予想 (億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	16,302	100.0	8,470	8,130	16,600	9,020	100.0	8,280	100.0	17,300	100.0
営業利益	3,132	19.2	1,570	1,630	3,200	2,040	22.6	1,610	19.4	3,650	21.1
税引前当期純利益	3,164	19.4	1,580	1,640	3,220	2,050	22.7	1,620	19.6	3,670	21.2
当社株主に帰属する 当期純利益	2,371	14.5	1,180	1,220	2,400	1,520	16.9	1,190	14.4	2,710	15.7
ROIC(税引前) (%)	18.5			17.9						20.4	
為替 (円/USD)	106.06			107.00		109.25		109.00		109.13	

- 自動車市場において、顧客による今後の増産を目的とした部品在庫の積み増しの動きが引き続き見られることや、コンピュータ及び関連機器向けで高水準な需要の継続が見込まれることにより、通期売上高は上方修正。
- 生産高の増加に伴う操業度益の発生や円安効果により、営業利益も当初の想定を上回る見込み。
- 売上・利益ともに過去最高値を予想。営業利益率は20%以上を予想し、ROICも「中期構想2021」で目標として掲げた20%の実現を目指す。

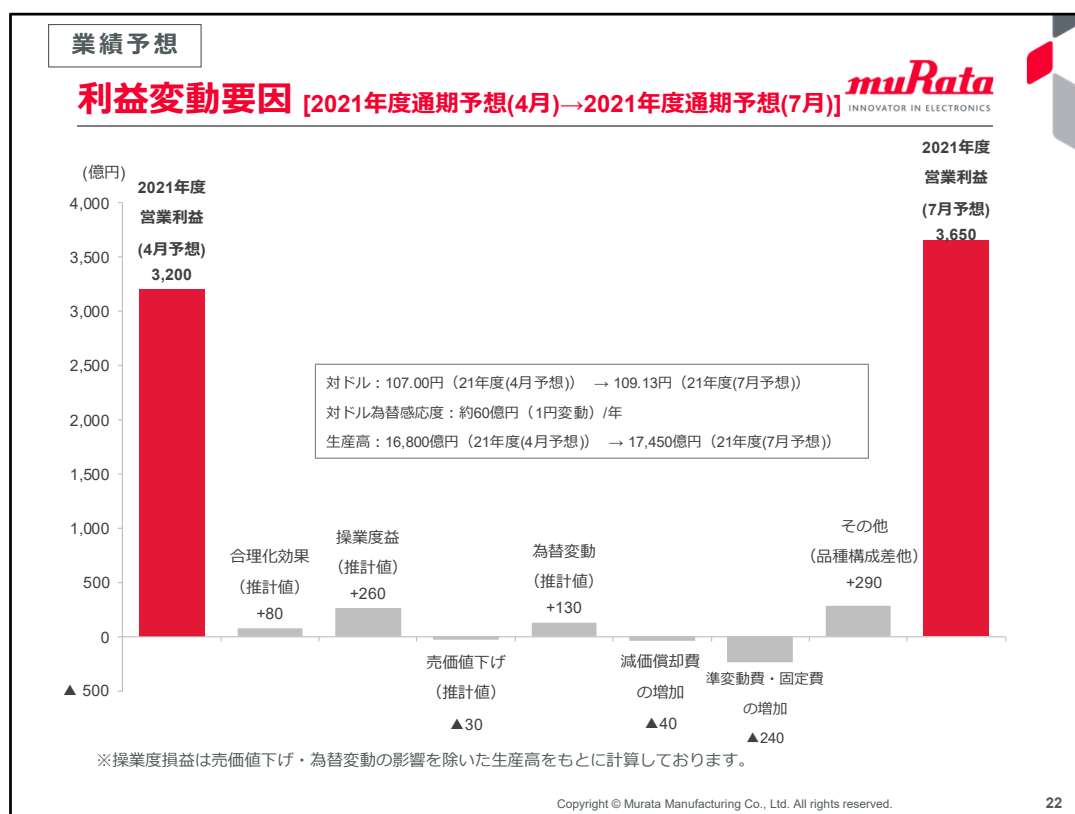
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

21

業績予想の損益でございます。

売上高は、上期で9,020億円、通期で当初予想比プラス700億円の上方修正ということで、1兆7,300億円としております。

営業利益は、上期で2,040億円、通期で3,650億円とし、当初予想比プラス450億円の上方修正としております。



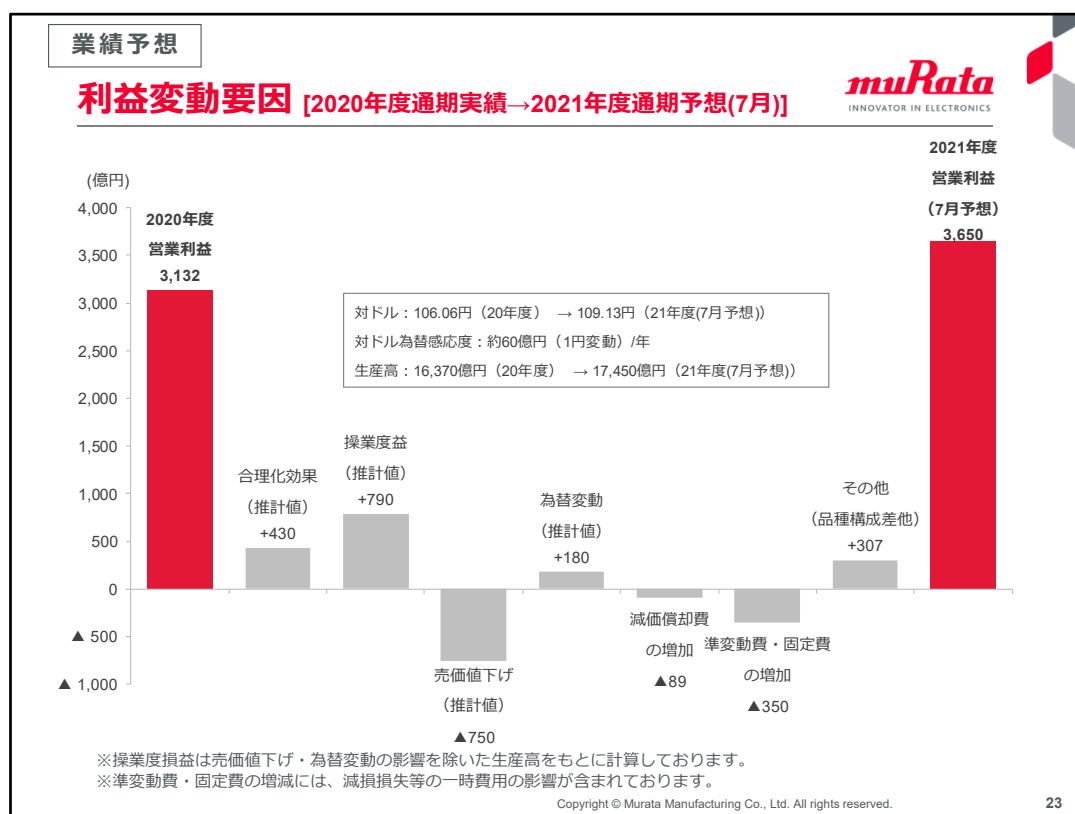
利益の変動要因について説明させていただきます。

まず4月に発表した予想と、今回の予想の差です。

第2四半期以降の為替前提を109円としております。その影響で、為替変動につきましては、プラスに作用しております。

操業度益、標準変動費・費固定費につきましては、生産関連費用の増加でマイナス要因となります。

品種構成につきましては、コンデンサでありますとか、コンポーネント関係の売上高の上方修正によるミックスの変化が主な要因でプラスになっております。



前年度比の利益の変動要因でございます。

為替変動につきましては、前年度106.06円に対しまして、今期の通期の平均が109.13円ということで、プラスに作用しております。

減価償却費につきましては、若干マイナスに作用しております。

標準変動費・固定費につきましては、コロナの影響で、前期は非常に固定費が抑えられたということで、マイナスの影響になっております。

品種構成につきましては、先ほどと同じ理由でプラスに作用しております。

	2020年度 通期実績	2021年度 通期予想(4月)	2021年度 通期予想(7月)
減価償却費	1,431 億円	1,480 億円	1,520 億円
研究開発費	1,017 億円	1,040 億円	1,080 億円
設備投資額	1,967 億円	1,600 億円	1,700 億円
為替レート(USD)	106.06 円/USD	107.00 円/USD	109.13 円/USD
為替レート(EUR)	123.70 円/EUR	128.00 円/EUR	128.98 円/EUR

【対ドル為替感応度(1円変動/年)】

売上 2020年度：約90億円 → 2021年度：約110億円

営業利益 2020年度：約45億円 → 2021年度：約60億円

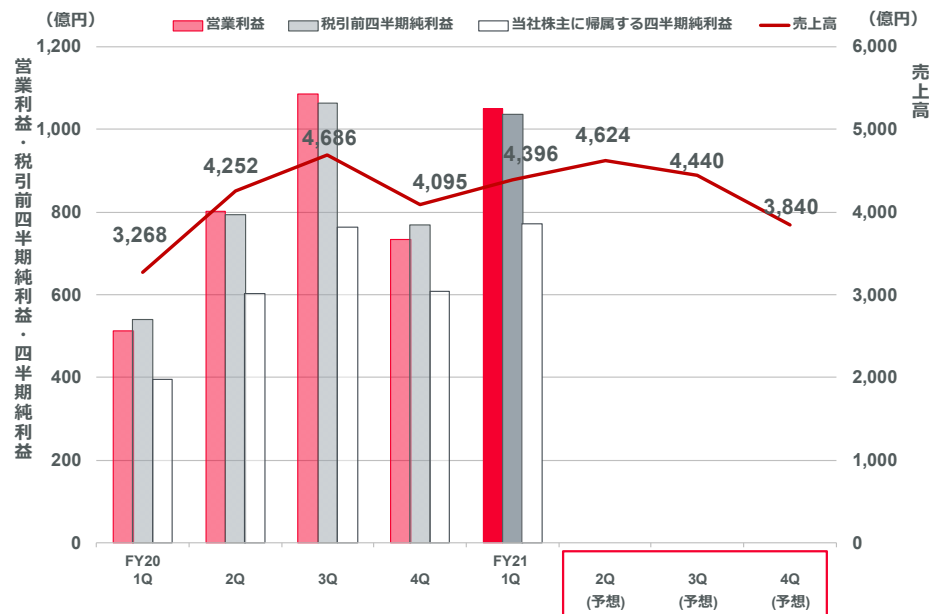
業績予想の前提でございます。

減価償却費につきましては、4月予想に対して40億円の増加、研究開発費につきましては、40億円の増加としております。

設備投資につきましては、100億円の増額を計画しております。

為替レートにつきましては、記載のとおりでございます。

業績推移（四半期）



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

25

四半期別の見通しでございます。

売上高につきましては、第2四半期4,624億円、第3四半期4,440億円、第4四半期3,840億円でございます。

製造高につきましては、第1四半期は4,500億円程度ございました。見通しにつきましては、第2四半期も4,500億円、第3四半期は4,400億円、第4四半期は4,050億円を計画しており、通期では1兆7,450億円の製造高を計画しております。

コンデンサの操業度につきましては、ほぼフル操業となっております。上期で95%、下期も95%を計画しております。



- 2021年度（2022年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間120円
（中間配当60円／期末配当60円）
※年間配当を前年度比5円増配

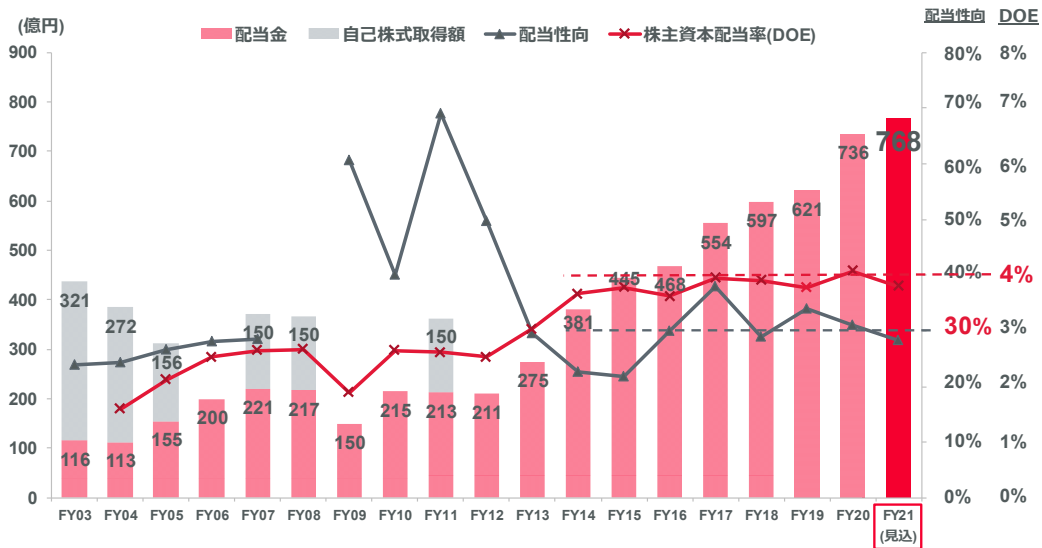
- 2020年度（2021年3月期）の配当
1株当たり年間115円
（中間配当55円／期末配当60円）
※期末配当を従来予想比5円増配

※当 配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

配当還元、株主還元でございます。
配当につきましては、当初の計画から変更しておりません。

株主還元推移

- 配当 配当の安定的な増加を基本方針としており、中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- 自己株式取得 株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

27

株主還元の推移でございます。
通期の業績予想を変更した結果として、当期の予想DOEは3.8%、予想配当性向は28%となる計画でございます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



補足

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

<当社グループにおける感染防止取り組み（一例）>

- ・ マスク着用義務化
- ・ 入棟時の手指消毒、サーモグラフィによる検温の実施と記録
- ・ 社内行動履歴の記録
- ・ 食堂の横並び席及び個別仕切り席への変更、
喫食席の記録（QRコードをモバイル機器で読み取って登録）
- ・ 会議のオンライン化
- ・ 執務室のディスタンス確保、飛沫防止用衝立の設置
- ・ 出張、懇親会、イベント等の自粛

感染防止策の徹底により、生産への影響はほぼ無し

当社およびグループ会社は、今後も地域住民の皆さま、お客さま、お取引先さま、および全従業員の健康と安全を最優先に考え、政府の方針や行動計画に基づき、引き続き感染予防・感染拡大防止に取り組んでいきます。

業績予想の前提

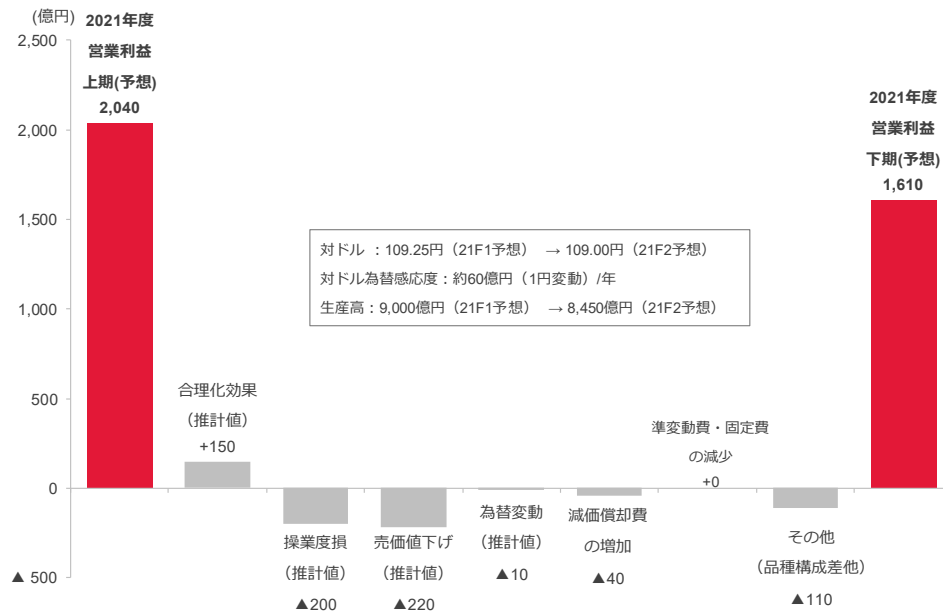
	2021年度 上期予想(7月)	2021年度 下期予想(7月)	2021年度 通期予想(7月)
減価償却費	740 億円	780 億円	1,520 億円
研究開発費	540 億円	540 億円	1,080 億円
設備投資額	800 億円	900 億円	1,700 億円
為替レート(USD)	109.25 円/USD	109.00 円/USD	109.13 円/USD
為替レート(EUR)	129.97 円/EUR	128.00 円/EUR	128.98 円/EUR

【対ドル為替感応度(1円変動/年)】

売上 2021年度：約110億円

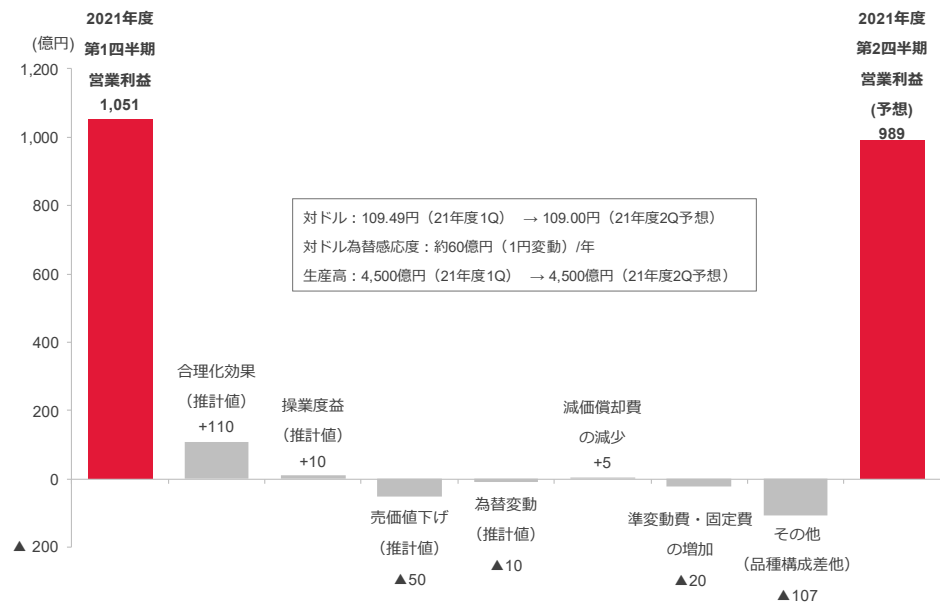
営業利益 2021年度：約60億円

利益変動要因 [2021年度上期予想→2021年度下期予想]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

利益変動要因 [2021年度第1四半期→2021年度第2四半期予想]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

04 August 2021 34

財務データ(1/3)

	2018年度				2019年度				2020年度				(億円) 2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396
営業利益	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051
税引前四半期純利益	499	928	797	449	632	616	780	513	539	792	1,063	769	1,037
当社株主に帰属する 四半期純利益	390	693	601	385	468	439	561	362	396	603	765	607	772
設備投資	777	788	727	624	529	620	814	854	402	438	489	639	426
減価償却費	269	305	323	347	336	346	357	364	340	359	357	375	373
研究開発費	260	243	251	262	261	253	247	264	248	262	244	263	270
対ドルレート(円)	109.07	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51	105.90	109.49

補足

財務データ(2/3)



 INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
製品別売上高	コンデンサ	1,265	1,472	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382	1,345	1,561	1,673	1,687	1,893
	圧電製品	381	385	321	300	314	319	336	323	264	344	320	366	388
	その他コンポーネント	938	1,083	992	909	924	986	928	792	774	1,013	1,070	1,020	1,109
	コンポーネント計	2,583	2,939	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498	2,382	2,918	3,062	3,072	3,390
	モジュール	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999
	売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388
用途別売上高	A V	173	197	175	150	169	177	148	116	154	207	184	173	190
	通信	1,574	2,355	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900	1,592	2,221	2,477	1,759	1,857
	コンピュータ及び関連機器	564	653	680	595	586	606	581	532	680	713	745	777	897
	カーエレクトロニクス	596	630	660	685	668	661	662	644	428	664	800	839	827
	家電・その他	541	586	619	606	506	460	439	426	407	440	473	540	618
	売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388
地域別売上高	南北アメリカ	389	763	751	456	472	579	458	387	286	487	552	380	456
	ヨーロッパ	329	322	332	415	361	317	304	338	212	318	350	383	404
	中華圏	1,810	2,315	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921	1,988	2,441	2,764	2,318	2,450
	アジア・その他	603	664	642	684	630	696	608	646	487	677	628	629	684
	海外計	3,131	4,064	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293	2,972	3,923	4,295	3,710	3,994
	日本	318	357	380	369	378	353	349	326	289	322	385	378	394
	売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

36

補足

財務データ(3/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



(億円)

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
コンポーネント	売上高	2,686	3,056	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625	2,456	3,008	3,150	3,140	3,461
	事業利益	626	875	849	772	675	501	689	631	589	792	914	835	1,120
モジュール	売上高	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999
	事業利益	▲5	169	140	▲159	79	179	219	17	69	148	329	▲4	85
その他	売上高	244	336	208	236	169	154	140	129	144	168	151	147	156
	事業利益	29	34	22	21	15	16	12	15	19	20	19	19	20
消去又は本社部門	売上高	▲340	▲445	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247	▲211	▲252	▲233	▲208	▲220
	本社部門費	▲168	▲165	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139	▲164	▲159	▲179	▲117	▲175
連結	売上高	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396
	営業利益	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

37

